

適正な飼養管理の 基準の具体化について

(公社) 日本動物福祉協会
学術ネットワーク

2020.9.15

主要要望事項

- 1.繁殖犬猫及び販売犬猫以外の犬猫の飼養管理
- 2.帝王切開の回数制限等の必要性
 - ☞ 環境省基準スライド30に説明を追記
- 3.輸送時の方法・空調温度等を記載
- 4.引退犬猫等の余生について

繁殖犬猫及び販売犬猫以外の犬猫の飼養管理

理由1：繁殖及び販売業者施設に引退した動物や売れ残った動物等は、ネグレクト及び不適切な飼養管理に置かれやすいことから、施設内にいる全ての動物を対象とする基準が必要である。

理由2：従業員2名の繁殖施設で繁殖犬と引退犬合わせて100頭いた場合、視察時に適当な30頭を繁殖犬と申告することもでき、残り70頭を繁殖等に使用されることが懸念される。

理由3：貸出し業及び展示業など繁殖・販売業以外で使用されている犬猫の適正な飼養環境の確保も必要。

繁殖犬猫及び販売犬猫以外の犬猫の飼養管理

改善案

- 1) 繁殖犬猫、販売犬猫等の括りではなく、登録者・責任者等の施設にいる全ての犬猫とする。← 本基準では難しい
- 2) 繁殖犬猫、販売犬猫の頭数制限に加え、登録者・責任者等の施設にいる全ての犬猫及び施設・事業所内にいる犬猫の飼養環境は適正な飼養管理基準に準ずる。

管理方法案

- 1) 繁殖・販売業者は、犬猫等健康安全計画等に繁殖する犬猫のマイクロチップ番号を明記し、自治体に報告する。
- 2) 帝王切開・普通分娩ともに、両親のマイクロチップ番号が記載された出生証明書をかかりつけ獣医師に発行してもらう。

帝王切開の回数制限等の必要性

理由

帝王切開は普通分娩より痛み等母体への負担が大きいことは獣医学的にも明らかである。

改善案

獣医師による判断だけでなく、帝王切開の生涯回数制限を設ける。

帝王切開を行う場合であっては、獣医師に行わせるとともに、実施した獣医師による出生証明書と母体の状態に関する診断書（次回への対する指導・助言）の交付を受けることを義務付け

※～、今後、幅広い視点から国民的な議論を進めていくことが必要

輸送時の方法・空調温度等を記載

理由：2014年鬼怒川犬死体大量遺棄事件では、愛知県から栃木県まで車内で空調のない過密状態且つ空状態で輸送し、多くが熱中症で死亡した。

改善案：車内の空調温度設定及びケージ・クレート・キャリアによる運搬においては、輸送中にケージを固定し動物の安全を確保すると同時に自然な行動がとれるようにすること等を解説書に明記。

引退犬猫等の余生について

- ・引退犬猫等の**譲渡**を促進するためには、年齢だけではなく、適切な排便・排尿行動、人慣れ等の社会化が重要である。
- ・**終生飼養**する場合は、引退犬も現役の犬猫の飼養管理と同等の環境に置き、行政による視察指導ができるようにすること。

これらの点について、解説書で詳細に記載すること。

課題

段階的頭数制限の必要性

【理由】

現在、多くの犬猫を抱えている繁殖業者は動物の処遇に困ることになることが容易に想像でき、業界内だけでの対応では限界がある。そのため、余剰動物と判断された犬猫が、遺棄されたり不適切な環境で飼養されない対策が必要。

【対策】

政省令が来年6月に施行となった場合、業者に対して猶予期間を与える等対応が必要がある。

例) 3年猶予；200%所有の場合、1年目は160%、2年目130%、3年目100%に達成

一定期間、動物愛護センターなど行政による引取りや相談窓口の設置等の対策は必須。

課題

認定獣医師の育成

教育プログラム（案）

1.講義

動物福祉学、シェルターメディスン＝社会獣医学、公衆衛生学、検疫と感染症対策、動物虐待、災害獣医療、臨床繁殖学（先天性疾患及び遺伝性疾患等）、予防医学（健康診断）、問題行動と予防、改正動愛法について（動取についてを含む）、安楽死について、コミュニケーションスキル

2.実習

優良な有志ペットショップ及びブリーダー等で実習

3.主催

大学など第3機関